

本時のねらい

場面を表したテープ図を基に、友だちと協力して、問題を解くことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

グループに1台のタブレットを使い、各班が作った問題（動画）を解くことにより、算数への関心を高める。

授業支援ソフトを活用し、ふりかえりを他のグループとも共有することで、学習への理解を深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ 電子黒板
- ・ 授業支援ソフト（ロイノート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 ・テープ図をつかってもんだいをとこう。 ○問題を解くときのルールを確認する。 	班での活動をする時の机の並べ方や、机上に用意するものの位置を書いた図を電子黒板に映し、教員の指示をわかりやすく伝える。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を解く。 ・「お店屋さん」と「お客さん」に分かれ、各班の作った問題を解く。 ・テープ図を書くことが難しいときは、「お店屋さん」役の子がヒントカードを示しながら教え、支援する。 ・解いたら「お店屋さん」役の子が丸付けとサインを行い、「お宝カード」と交換する。 ・4つ解くことを目標とする。 	<p>前時までに授業支援ソフトを用いて問題の動画を作成している。その動画を見て、意欲的に問題に取り組めるようにする。また、文章の読み取りが難しい児童への手立てとする。</p> <p>電子黒板でタイマーを映し、残り時間を自分で確認できるようにする。</p>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のふりかえり（友達と協力できたこと・友達のよかったところ・わかったことや感想）を書く。 	電子黒板でふりかえりの例を示したり、児童のふりかえりを共有したりして、自分の考えを深められるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1「お店屋さん」がグループで作った動画を見せながら説明している様子



写真2グループで作った動画を見た後、問題を解いている様子



写真3ふりかえりを書いて共有している様子

児童生徒の反応や姿容

- ・「テープ図問題 YouTuber」と称し、グループでテープ図を使って考える問題を作り、その動画に撮る活動を行った。活動による学習への動機づけから、単元を通して意欲的に取り組む児童が多く、「算数ってこんなに楽しかったんや」「もっとやりたい」などの発言も見られた。
- ・算数に強い苦手意識を持つ児童も、動画づくりから最後に問題を解き合うところまで意欲的に参加することができた。
- ・文章問題への苦手意識の解消に向け、主体的に学習することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・授業の準備物が多く、動画作りにはある程度の時間がかかるという点を考慮しても、子どもたちがこれほど楽しそうに学習していた算数の授業はなかったと思う。
- ・普段算数への意欲が課題である児童が前向きに参加でき、ICTを効果的に活用できた。
- ・「部分」「全体」などの用語やテープ図のパターンなど、知識・技能への習熟が必要である。